

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業(とりまとめ)	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-3	商業の振興			
	施策	2	商店街の再生			
目的	商店街の賑わいづくり支援					
対象	商業者、商店街団体					
意図	商店街等のイベントや未利用店舗活用の商業者					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○各種団体補助金・負担金 36,054千円 ・花巻商工会議所補助金 32,500千円 ・まちの駅連絡協議会会費 60千円 ・岩手県中小企業団体中央会補助金 3,494千円 ○商店街活性化イベント補助金 4,344千円 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援 ○市民ふれあい広場運営 1,491千円 商店街（一日市商店街、大迫町商店街、東和町商店街）の利便施設の設置、管理運営 ○中心市街地新規出店者経営支援 656千円 中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対する店舗の借上げに要する経費の支援及び経営指導 ○まちなか創業支援事業 1,368千円 中心市街地の未利用店舗を活用して新規に創業する事業者に対する改装等に要する経費の支援 市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	商店街活性化イベント実施件数	件	計画	12	12	
			実績	14	12	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	商店街活性化イベント来街者数	人	目標	90,000	90,000	
			実績	91,058	82,481	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
商店街活性化イベントの実施主体となる商店街団体における組合員の高齢化や後継者不足によって、イベント実施に向けた意欲の低下もあり、イベントの開催延期や回数の減により来街者数が減っている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郊外大型店出店により市全体の買い物利便性が向上する反面、既存商店街の競争力、商業機能は低下しており、個店の商業力の強化や、中心商店街の賑わいづくりが喫緊の課題である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	商店街の組織力、未利用店舗オーナーの意識改革、経営力向上などにより、事業効果の向上余地はあると考えられる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	商業団体・新規出店者等への補助金は、現行以上に削減するのはインセンティブとして弱過ぎるため削減余地なし。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、商業者や団体等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業や商店街組合等が実施する自主的なイベントを支援するとともに、商店街における利便施設の運営、中心市街地への新規出店者の経営支援などを行い、市街地の誘客と賑わい創出に努めた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	07	01	02	174040	商店街賑わいづくり事業(とりまとめ)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		45,085	43,913		△ 1,172
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	1,000			△ 1,000
	一般財源	44,085	43,913		△ 172

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

中心市街地の再活性化

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、商店街における便利施設運営、まちなかで新たに創業する事業主・後継者等への支援を行うことにより、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要

- 各種団体補助金・負担金 36,054千円
  - ・花巻商工会議所補助金 32,500千円
  - ・岩手県中小企業団体中央会補助金 3,494千円
- 商店街活性化イベント補助金 4,344千円
  - 商店街団体が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援
- 市民ふれあい広場運営 1,491千円
  - 商店街（一日市商店街、大迫町商店街、東和町商店街）の便利施設の設置、管理運営
- 中心市街地新規出店者経営支援 656千円
  - 中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対する店舗の借上げに要する経費の支援及び経営指導
- まちなか創業支援事業 1,368千円
  - 中心市街地の未利用店舗を活用して新規に創業する事業者に対する改装等に要する経費の支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

商店街における高齢化・担い手不足は深刻な状況にあり、商店街団体の会員の減もあり、これまで開催しているイベントを継続するのも難しくなっている。また、商店街の未利用店舗も増えており、未利用店舗を活用した新規出店者の掘り起こしが必要。個店がしっかりしていないと、商店街の活性化は難しい。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 藤原啓昭 内線 389

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○各種団体補助金・負担金 36,054千円

- 花巻商工会議所補助金 32,500千円 (H27当初 32,888千円 前年度比 ▲388千円)
  - 市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査広報費、イベント費用などを支援。
- まちの駅連絡協議会会費 60千円
  - まちの駅いしどりや酒造交流館がまちの駅として認定され、協議会に加入している。同協議会は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体のネットワークであり、まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・斡旋、研修事業などを実施。
- 岩手県中小企業団体中央会補助金 3,494千円 (H27当初 3,506千円 前年度比 ▲12千円)
  - 中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。
  - 花巻市内重点支援組合：13組合、特別支援団体・企業：33組合等

○商店街活性化イベント補助金 4,344千円

- 商店街団体が実施する賑わいづくりイベント事業を補助する。
- イベント実績 10団体、12イベント

【概要】 ※下線部分がH27から新規で追加となる予定のもの。

- 補助率：対象経費の1/2
- 上限額：500千円（2イベント以上の場合上限1,000千円、1実行委員会当たりイベント数に関わらず上限1,000千円）

事業主体：商店街振興組合、NPO、市民グループ等、中心市街地内でイベントを行う団体  
商店街振興組合以外のNPO、市民グループ等が事業主体として加わることにより、自らが街なかを元気にしようとする市民の広がりが期待され、街なかの活性化が期待される。

○市民ふれあい広場運営事業 1,491千円

- 商店街の便利施設として運営。
- H26から人件費相当分の委託は無しとし、物件費のみ市負担。管理は地元へ無償委託する。
- ・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 754千円（1,686人、341日）
- ・大迫町商店街（おおはさま共通商品券協同組合） 227千円（1,607人、58日）
- ・東和町商店街（東和町土澤商店街商店会連絡会） 509千円（5,955人、276日）

○中心市街地新規出店者経営支援事業 656千円

- H26で新規採択終了。H27以降は、H26採択案件への家賃補助・経営指導を実施。
- ・継続分家賃補助 604千円（補助件数：6件）
- ・継続分経営指導 52千円（指導件数：4件）

○まちなか創業支援事業 1,368千円

- ・事業性のある（金融機関の融資に耐えうる事業性）事業者へ、立上げ経費支援。
- ・補助対象は、改装費、広告宣伝費。 ※賃料は対象外。
- ・補助金額は上限500千円（対象経費：上限1,000千円の1/2）
- ・補助金交付 3件